



2022年5月16日

各 位

会社名 株式会社ハイパー  
代表者名 取締役社長 望月 真貴子  
(コード番号 3054)  
問合せ先 取締役 江守 裕樹  
(TEL 03-6855-8180)

(訂正・数値データ訂正) 「2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2021年5月14日に開示いたしました「2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2022年5月16日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイパー  
 コード番号 3054 URL https://www.hyperpc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 望月 真貴子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田邊 浩明 TEL 03-6855-8180  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	5,684	△11.0	134	△37.1	135	△34.4	82	△39.7
2020年12月期第1四半期	6,389	△7.7	214	△0.4	206	△4.1	136	0.5

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 82百万円(△38.9%) 2020年12月期第1四半期 134百万円(△1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	9.12	8.87
2020年12月期第1四半期	15.61	15.09

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	7,605	3,193	41.0	346.37
2020年12月期	6,799	3,151	45.2	341.78

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 3,116百万円 2020年12月期 3,074百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	4.50	—	4.50	9.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	4.50	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,500	1.8	190	△22.0	190	△20.1	130	△19.7	14.45
通期	24,000	12.4	420	54.3	425	55.9	280	53.6	31.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

## ※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	9,129,900株	2020年12月期	9,127,500株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	132,408株	2020年12月期	132,408株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	9,128,353株	2020年12月期1Q	8,855,677株

（注）期末自己株式数には、「三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式130,000株が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計会計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益が落ち込むなど、依然として厳しい状況が続いております。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせる懸念や金融資本市場の変動等の影響など、先行き不透明な要素が見られました。

当社グループが属するコンピュータ販売業界におきましては、パソコンの買い替え需要の低迷や企業の設備投資縮小の影響を受けておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響による在宅勤務等のテレワーク需要の拡大に加え、GIGAスクール構想によるパソコンの整備が本格化したことで、ノートパソコンの需要を大幅に押し上げ、市場全体の下支えをしました。

このような環境のもと、顧客ニーズが高まるセキュリティ関連事業への継続的な取り組みやテレワーク需要に対応した製品・サービスの販売に注力してまいりました。また、当社独自の在庫販売戦略を継続しつつ、ソリューション営業、ストックビジネスの強化や各メーカーとのアライアンス強化等を図ることにより、事業の収益力の継続的な向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,684,447千円（前年同四半期比11.0%減）、経常利益は135,538千円（前年同四半期比34.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は82,086千円（前年同四半期比39.7%減）となりました。

各セグメント別の営業の概況は次のとおりであります。

#### ① ITサービス事業

法人向けコンピュータ市場においては、2020年1月まで顕著化したWindows 7のサポート終了に伴う買い替え需要の揺り返しによる低迷に加え、新型コロナウイルス感染症の影響から企業の設備投資は先送り傾向で推移しております。テレワーク関連やGIGAスクール構想などによってパソコン市場のニーズは高まったものの、企業活動の抑制などから市場における投資需要は先送り傾向が続き、GIGAスクール需要分を除いた法人市場は大変厳しい状況が続いております。また、世界規模の半導体供給不足や感染抑制のために物流が制限されていることなどもあり、市場におけるパソコンの調達に難しい状況が続いております。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症による急激な需要の変化に適応した在庫の調達を行いつつ、エンドユーザーへの販売を強化、テレワーク需要に対応した製品やサービスの販売に注力するなど、感染拡大予防策を講じながら営業活動を行ってまいりました。また、世界的なサイバーセキュリティ対策が急務な中、企業の情報漏えい事件が相次いだことにより、国内でもセキュリティ対策への投資意欲は高まりを見せており、当社グループにおいてもこのジャンルには引き続き注力してまいりました。その結果、売上高は3,271,046千円（前年同四半期比19.1%減）、営業利益は95,027千円（前年同四半期比48.9%減）となりました。

#### ② アスクルエージェント事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、既存取引先の稼働促進や新規取引先の拡大などの営業活動を、訪問主体からITを活用したWeb商談等に置き換えることにより生産性の向上に努めてまいりました。

働き方の変化や働く場所の多様化に加え、緊急事態宣言の再発出により改めて在宅勤務が増加するなど、消耗品等のオフィス需要は一部で影響を受けたものの、売上高、営業利益は堅調に推移いたしました。その結果、売上高は2,391,596千円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は38,967千円（前年同四半期比56.5%増）となりました。

#### ③ その他

当社グループは、就労移行支援事業及び放課後等デイサービス事業を3施設運営しており、職業訓練・就労支援に関するサービス及び児童・生徒の発達支援に関するサービスの提供を行っております。緊急事態宣言の再発出を受け利用自粛や予約キャンセル等が増加するなどの影響があったものの、感染予防策を徹底し、細心の注意を払いながら通常通りの営業日・時間でサービスを提供いたしました。その結果、売上高は21,805千円（前年同四半期比8.7%減）、営業利益は807千円（前年同四半期比74.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は「受取手形及び売掛金」及び「現金及び預金」の増加等により、前連結会計年度末と比べて805,560千円増加し、7,605,558千円となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は「買掛金」の増加等により、前連結会計年度末と比べて763,826千円増加し、4,412,018千円となりました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は「利益剰余金」の増加等により、前連結会計年度末と比べて41,733千円増加し、3,193,540千円となりました。この結果、自己資本比率は41.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に「2020年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

しかしながら、感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症の終息が長引けば、企業活動の停滞が続き、経済面での影響が甚大となる可能性があります。

当社グループでは、国及び地方公共団体が示す方針及び要請に従い、新型コロナウイルスの感染症予防並びに感染拡大防止措置を講じております。マスクの着用、手洗い・手指消毒の励行、テレワーク等勤務体制の整備など、当社グループの実情に合わせて可能な対応を行うことにより、顧客や従業員等の健康・安全を守りながら、事業の継続に努めております。

今後、当社グループ事業への影響について慎重に見極め、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,080,746	3,356,899
受取手形及び売掛金	2,611,071	3,188,913
電子記録債権	81,170	103,252
有価証券	10,000	10,000
商品	437,699	393,230
仕掛品	36,682	45,081
その他	65,916	77,523
貸倒引当金	△6,454	△8,084
流動資産合計	6,316,832	7,166,816
固定資産		
有形固定資産	53,012	50,741
無形固定資産		
のれん	65,847	54,873
その他	83,732	71,837
無形固定資産合計	149,580	126,710
投資その他の資産		
投資有価証券	78,765	77,048
その他	280,829	262,430
貸倒引当金	△79,022	△78,188
投資その他の資産合計	280,572	261,290
固定資産合計	483,165	438,742
資産合計	6,799,998	7,605,558
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,421,749	3,135,653
短期借入金	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	214,500	189,450
未払法人税等	12,365	7,035
賞与引当金	75,311	45,142
その他	199,655	247,322
流動負債合計	3,023,582	3,824,605
固定負債		
長期借入金	558,800	518,600
退職給付に係る負債	23,773	24,446
役員株式給付引当金	14,720	16,964
その他	27,314	27,402
固定負債合計	624,608	587,413
負債合計	3,648,191	4,412,018

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,305	386,676
資本剰余金	384,233	384,603
利益剰余金	<u>2,360,629</u>	<u>2,401,652</u>
自己株式	<u>△59,803</u>	<u>△59,803</u>
株主資本合計	<u>3,071,364</u>	<u>3,113,129</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,958	3,306
その他の包括利益累計額合計	<u>2,958</u>	<u>3,306</u>
新株予約権	77,484	77,103
純資産合計	<u>3,151,806</u>	<u>3,193,540</u>
負債純資産合計	<u>6,799,998</u>	<u>7,605,558</u>



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	6,389,628	5,684,447
売上原価	5,506,370	4,861,072
売上総利益	883,258	823,375
販売費及び一般管理費	669,115	688,573
営業利益	214,143	134,802
営業外収益		
受取利息	205	196
受取配当金	-	197
広告料収入	600	700
その他	1,072	796
営業外収益合計	1,878	1,889
営業外費用		
支払利息	259	1,092
株式交付費	8,281	-
その他	725	60
営業外費用合計	9,265	1,153
経常利益	206,756	135,538
特別利益		
新株予約権戻入益	281	188
特別利益合計	281	188
税金等調整前四半期純利益	207,037	135,726
法人税、住民税及び事業税	51,182	37,036
法人税等調整額	19,683	16,602
法人税等合計	70,865	53,639
四半期純利益	136,171	82,086
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,171	82,086

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	136,171	<u>82,086</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,325	348
その他の包括利益合計	<u>△1,325</u>	<u>348</u>
四半期包括利益	<u>134,846</u>	<u>82,435</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,846	<u>82,435</u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計会計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	I Tサービ ス事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,041,046	2,324,705	6,365,752	23,875	6,389,628	-	6,389,628
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	4,041,046	2,324,705	6,365,752	23,875	6,389,628	-	6,389,628
セグメント利益	186,125	24,898	211,023	3,119	214,143	-	214,143

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業及び放課後等デイサービス事業等を含んでおります。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	I Tサービ ス事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,271,046	2,391,596	5,662,642	21,805	5,684,447	-	5,684,447
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,271,046	2,391,596	5,662,642	21,805	5,684,447	-	5,684,447
セグメント利益	95,027	38,967	133,994	807	134,802	-	134,802

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業及び放課後等デイサービス事業等を含んでおります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。